

光星男子 柴田、光星女子 全国へ

全国高校バスケットボール選手権（ウインター）カップ 出場を懸けた県予選は最終日の23日、藤崎



【男子決勝・青森山田一八学光星】第4クォーター、シュートを決める八学光星の成田＝スポーツプラザ藤崎

全国高校バスケットボール選手権（ウインター）予選は最終日の23日、藤崎のスポーツプラザ藤崎で男女の決勝を行った。男子は八学光星が2年連続5回目、女子は柴田が3年連続17回目の優勝を飾り、12月の全国選手権出場を決めた。

男子決勝の八学光星は序盤に雪田や川村らの得点でリードすると、後半は成田の3点シュートなどで引き離し、青森山田を99-76で破った。昨年と同じ柴田学園と八学光星の対決となった女子決勝は第2クォーター、柴田学園が逆転すると、その後は寄せ付けず94-57で3連覇を果たした。本県女子は出場枠2のため、準優勝の八学光星（4年ぶり3回目）の出場も決まった。全国高校選手権は12月23～29日、東京都内で開かれる。

（千葉康之）

攻守さえ連覇達成

○：男子の八学光星は前半で相手に15点差をつけ、後半も速攻や外からのシュートなどが決まり、危なげない展開で連覇を成し遂げた。

直前の準決勝では、終盤に同点に追いつかれるも辛くも逃げ切った。佐々木コーチは「準決勝でプレートのない選手たちが決勝で足を使って活躍するなど良かった。ディフェンスではボールを奪うまでやりきる自分たちのプレーができた」とチームをたたえた。22得点の活躍で後半に3点シュートを4本決めた成田は、全国に向け「3ポイントを5本以上決めて30点は取りたい。まだ全国で勝っていないので、まずは1勝」と気合を入れた。